

澄んだ瞳

第78号

令和6年12月号

発行

相生市教育委員会

相生市人権教育研究協議会

12月4日から10日は人権週間

令和6年度 啓発活動重点目標

「誰か」のいざじゃない。

「誰か」のいざじゃない。

人権問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

「ありがとうおにいちゃん」

ぼくは、たてわりはんで、おにいちゃんが
あんないをしてくれたり、やさしく

「すいとうわすれてきたの。」

といってくれたりして、おにいちゃんってや
さしいんだなおもいました。

そして、すいとうがやっとみつかって、う

れしすぎて、ありがとうがいえなかったです。
ありがとうおにいちゃん。

(小学一年生)



「みんなが仲よくおどろえと」

きのう、うんどう会でした。はじめ、おう
えんのダンスで、足をあげるのがはずかし
かったです。でも、がんばっておどりました。
おどっているときに、お母さんと目があいま
した。お母さんがにっこりわらってくれたの

で、いっしょうけんめいおどりました。みん
なといっしょにがんばれてよかったです。

うんどう会が終わってから、お母さんとお
父さんが、

「じょうずだったで。」

とってくれました。じぶんではわからな
かったけど、じょうずとってくれてとても
うれしい気持ちになりました。らい年もがんば
りたいです。

(小学二年生)



「私の大好きな おばあちゃん」

おばあちゃんは、とても優しく、みんなのことを大切に思っています。そんなおばあちゃんが大好きです。

今は、おばあちゃんが入院しています。そのため、おじいちゃんが一人暮らしで、おばあちゃんにも会いたいと思っていますが、会うことができません。

そんな中、お母さんに、「おばあちゃんの面会行く？」

と聞かれても素直になれなくて、

「行かない。」

と言ってしまうことがあります。本当は行きたい気持ちがいっぱいで、今でもずっと会いたいと思っています。

大切な人、大好きな人だからこそ、会うことに少しきんちょうするけれど、今度から素直になって、おばあちゃんに会いに行きたいです。

大切に思ってくれる人に、自分からも「大切だよ。」

と伝えられるような人になりたいです。

(小学六年生)



「二年生になって」

私は二年生になって、友だちのおかげで、楽しく過ごせていると感じています。テストでも、家に帰ると、

「もっと出来たでしょ。」

「次はもっと点数を上げないと高校行けないよ。」

いよ。」

などと好き勝手言われることもあるけど、学校に行けば、

「次、頑張ろうよ。」

「でも、すごいやんー!」

などたくさんほめてくれます。

私は学校が大好きです。運動会という

つのイベントが終わり、次は文化祭に向け、みんなで協力していかないといけません。二年二組は、学校の中でも、仲が良い方だと思います。練習では、上手いかわなくても、本番で盛り上げてくれる最高の仲間にも出会いました。

運動会は惜しくも四位で終わったけど、リーグでの団結は今までで一番だったと思います。

これからもクラス対抗の行事があります。が、一位じゃなくても私は良いと思います。みんなが楽しむことができるかが大切だと思います。

大きなイベントの後や休み明けは、気持ちの切り替えが難しいと思うけど、運動会や普段の部活のように声をかけあったり、協力しながら高め合えたりしたら良いなと思っています。このクラスで過ごすことができて良かったです。

(中学二年生)

「大切な人」

私のひいおばあちゃんは、小学四年生の時に亡くなってしまいました。ひいおばあちゃんは足が不自由で、出かけるときは、私とお父さんが車いすを押していました。ひいおばあちゃんは、足は不自由ではあったけど、手はすごく器用で、ハンカチなどをよく作ってくれていました。

その年は、コロナが流行したので、私に合わせてマスクを作ってくれました。そのマスクはすごくかわいくて、よく使っていました。でも、学年が上がっていくにつれてコロナは拡大し、布マスクではなく、不織布のマスクを着けるようになり、日に日にそのマスクを使う機会が減りました。それから、コロナは落ち着いてきたものの、そのマスクは小さく、もう使えなくなってしまいました。

そこで、そのマスクを四歳離れた妹に譲りました。妹の小学校では、コロナは落ち

着いていたけど、インフルエンザが流行っていたので、妹はそのマスクを着けて登校しました。私は、妹の姿を見て、とても安心した気持ちになりました。理由は分からないけど、お空の上にいるひいおばあちゃんを妹を守ってくれているのではないかと思いました。

(中学二年生)



「SNSのマナーやルール」

SNSの利用が新しい法律に関係していることなど、SNSを利用している全員が気を付けなければならぬことを学ぶことができてよかったです。全員がスマホを一人一台は持つということがおかしくなく、身近なものになっている今、SNSやアプリ等の使用方法

や使用上の留意点を明確に知ることは、とても大切なことだと思います。今回、私を含め、多くの人がアプリの設定を見直していました。

よくスマホを使っているけど、個人情報はどう扱われているのか、情報の流出をどのように防いでいくのかなど、知らないことは多くあります。なので、アプリの見えづらい落とし穴や詐欺に関する危険なものに少しでも触れないようにするための対策などを自分自身で考えてみたり、調べてみたりしようと思いました。

大人になる前の高校生という立場から、自分で自分をできるだけ守ることやマナーやルールに対する姿勢など、社会で生きていくために必要な力をつけることができるように、日々意識して生活してみようと思います。スマホの利用によって、他人を傷つけないように注意していきたいです。

(高校二年生)

「体育を見学して」

私は三時間目に集団行動の授業を見学して、クラスメイトの声が大きく、とても凄いと感じました。

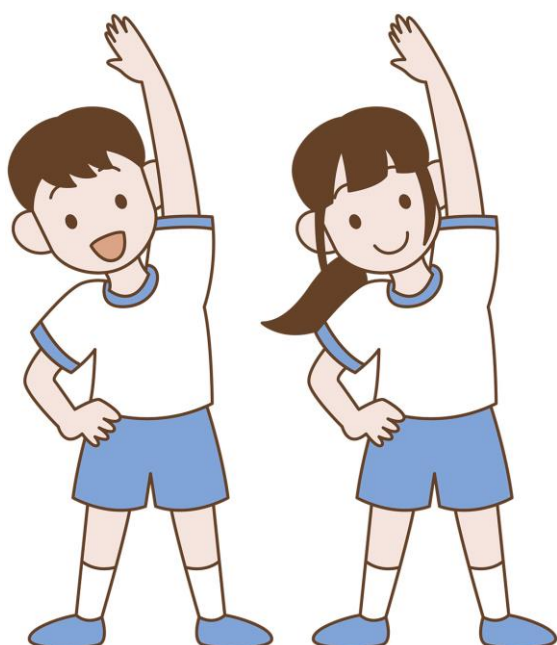
以前、行進をしているときは、バラバラだと感じていました。自分もだるそうにやってしまう時があり、その時はそれが楽だと感じていましたが、あらためて外から見ると格好悪く見えました。これから集団行動を行う時は、自分からしっかりと動いていき、前向きに体育の授業に参加しようと思いました。本気で集団行動に参加する大切さをあらためて感じました。

自分がやっている時は、あまり気にならないのですが、外から見ると、先生の話を聞いている時に、姿勢が悪い人や無駄な動きをしている人はとても目立ちます。きつと話をしている先生も私と同じようなことを感じ

ているのだと思います。相手を大切にすることとは、ただ思っているだけではなく、行動にも表していかないと相手に届かないのではないかと感じました。

そのように考えていくと、自分がこれまでとってきた行動がとても恥ずかしく感じられました。これからは、体調など自己管理をしっかりとしながら、相手を大切に考えた行動ができるように、学校生活を送ってきたいです。

(高校二年生)



人権週間

人権週間



12月4日(水)～10日(火)

国際連合は、世界人権宣言の採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー

(Human Rights Day)」と決めました。

法務省及び全国人権擁護委員連合会

は、「人権デー」を最終日とする1週間は

「人権週間」と定め、世界人権宣言の

意義を訴えるとともに、人権尊重思想の

普及高揚に努めています。

令和6年12月4日から10日までの1

週間を、「第76回人権週間」として、人権

啓発活動を実施しています。